

特集

平成26年度 沖縄農林水産業の情勢報告

沖縄の農林水産業における「うないパワー」

平成26年度の沖縄農林水産業の動向等を取りまとめた「平成26年度沖縄農林水産業の情勢報告」（沖縄版農林水産白書）を7月に公表しました。情勢報告の特集では、沖縄の農林水産業や地域活動の担い手として重要な役割を果たしている女性の力（うないパワー）を取り上げ、アンケート調査により女性農業者の実態、課題等を明らかにするとともに、多方面で輝く女性たちの活躍事例を紹介しています。

1. 沖縄の女性農業者をめぐる状況

① 女性の農業就業状況

沖縄県の農業就業人口2万3千人（平成22年）のうち、女性は8千人（37%）を占めていますが、一方で農業委員や農協役員等に占める女性の割合は依然として低く、農業経営や地域社会の意思決定の場への女性の参画は不十分な状況にあります。

② アンケート調査結果

女性農業者の現状や意識を探るため、関係機関等の協力を得て、県内の女性農業者を対象にアンケート調査を実施しました。調査結果の主な概要は以下のとおりです。（調査票発送：506票、回収：150票）

i) ワークライフバランスと家族経営協定

家事、育児、介護と仕事の両立は、「できている」との回答が過半を占める一方、「できていない」との回答は、特に介護で2.5割を占めています。

ワークライフバランスの実現に効果的な方法の一つである「家族経営協定」※については、過半の人が「知っている」又は「聞いたことがある」と回答しているものの、「締結している」と回答した人は「締結していない」と回答した人の半分に留まっています。

協定締結者は、締結後の変化として「仕事にやりがいを感じるようになった」「家族での話し合いの機会が増えた」などの改善効果を挙げており、また、締結者全ての方が経営に参画していることから、協定の効果がうかがえます。

※ 家族経営協定とは：

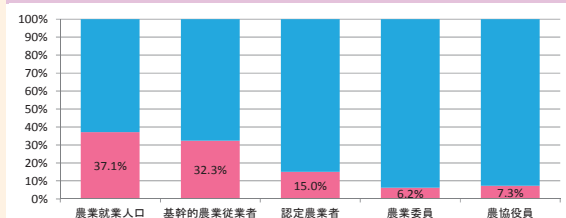
近代的な家族農業経営の実現を目指し、経営方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境などについて、家族みんなで話し合い、第三者の立ち会いの下で取り決めるもの

ii) 女性農業者の活躍場面

農業において女性の力が活かされていると思うことについては、「健康・食育に関する視点」「加工・販売」「細やかな姿勢、着眼」「明るく活気ある雰囲気づくり」「商品開発」が多く挙げられました。また、消費者や家族の食生活に身近に関わる立場からの声も多く寄せられました。

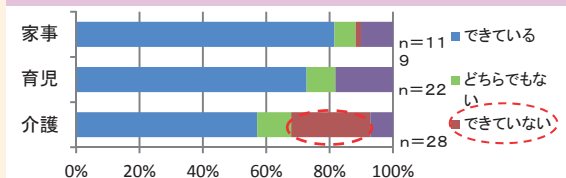


沖縄県の農業分野に占める女性の割合

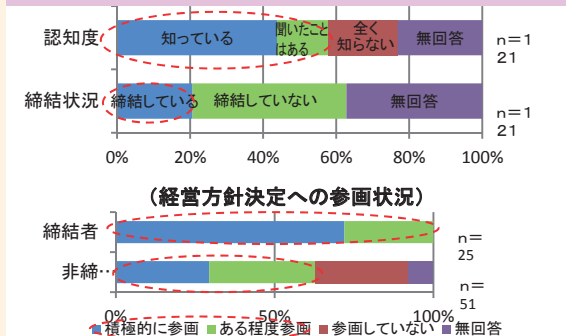


資料：農林水産省、沖縄県農林水産部、JAおきなわ

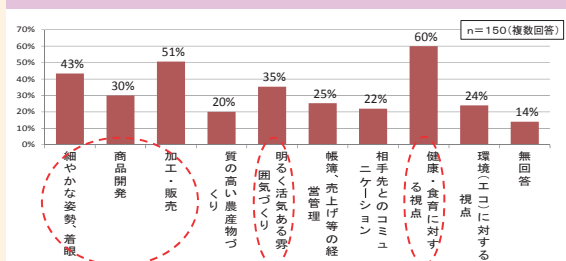
家事、育児、介護と仕事の両立状況



家族経営協定の状況



女性の力が活かされていると思うこと

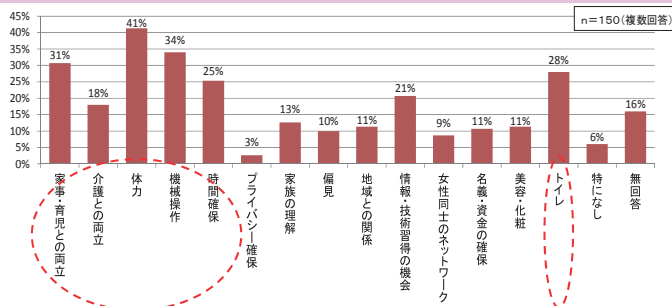


iii) 女性農業者の課題

女性であるために直面した課題については、「体力」が最も多く、次いで「機械操作」「家事・育児との両立」「トイレ」「時間の確保」が多く挙げられています。

こうした女性農業者に立ちはだかる課題の解決に必要なこととして、「家族・地域社会の協力」といった内容の回答が多く寄せられたことから、多くの女性農業者が、家族をはじめ周囲の協力が重要であると感じていることが読み取れる結果となりました。

女性であるために直面した課題



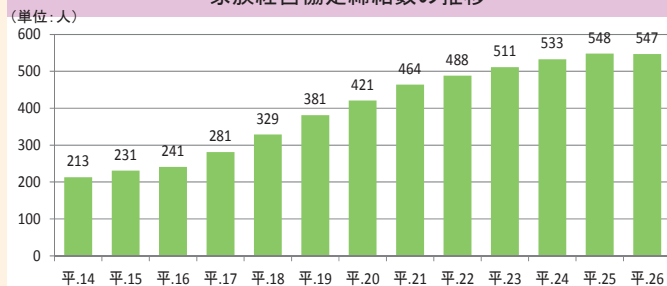
2. 女性の活躍促進に向けて

① 家族経営協定の推進

沖縄県における家族経営協定の締結数は、年々増加傾向で推移しており、平成26年は547件となっています。

家族経営協定は、女性の経営参画を促すとともに、経営体としての組織力を向上させる取組として有効です。

家族経営協定締結数の推移



資料：沖縄県農林水産部

② 農業女子プロジェクト

「農業女子プロジェクト」は女性農業者が多様な企業・団体と連携することにより、社会全体での存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ろうというものです。

現在、全国で295名(平成27年5月現在)が活躍しており、沖縄においても、平成26年に3名の農業女子メンバーが誕生しました。

農業女子PJ

「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業のシーズと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトを通して、農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信することにより、社会全体での女性農業者の存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。



「農業女子」の存在感を高める
企業連携によるビジネス発展、生産物の高付加価値化

資料：農林水産省資料を基に沖縄総合事務局作成

沖縄で「農業女子」、誕生！！

玉城 陸子さん

会社名：MMファーム
住 所：豊見城市
経営概要：彩りトマト等



○ 農業女子として平成26年7月から活動。

○ 活動内容は、企業が作る農業関連商品についての意見提案や、沖縄の農産物を使ったレシピ開発など。「更に女性ならではの意見をたくさん提案し、女性の働きやすい環境を作っていきたい」。

○ 3人で任意団体「まんまるしゅ」を結成。「今後、組合に育て、6次産業化にもチャレンジしていきたい」。

○ 就農を目指す女性たちへ一言。「一人で悩まないで女性の先輩に聞くことが一番」。

上里 さゆりさん

会社名：Herb&Spice Garden
住 所：豊見城市
経営概要：バジル等



比嘉 ともえさん

会社名：Cuculu Garden
住 所：豊見城市
経営概要：バジル



③ 女性の能力の発揮を一層促進するための施策

農林水産省では、女性向けの事業だけでなく、各種事業において女性の参画を促進する仕組みを盛り込むなど、女性支援策の充実・強化を図ってきたところです。これらの支援策の活用を通して、女性の能力を積極的に活かした新たな農林水産業や地域づくりを目指します。

【主な施策例】女性農林漁業者の活躍推進を支援：輝く女性農業者育成事業 等

女性農林漁業者が積極的に採択されるよう配慮：経営体育成支援事業 等

「平成26年度沖縄農林水産業の情勢報告」本編では、様々な分野で活躍している女性たちを紹介しています。本編及びアンケート調査の詳細については、以下の沖縄総合事務局農林水産部 HP からご覧になれます。
(http://www.ogb.go.jp/nousui/nousui_gaiyou.html)